

Cappella Accademica 48th Concert

カペラ・アカデミカ 第48回定期演奏会

ヘンデルのタベ

第1部 水上の音楽 (全曲)

管弦楽 : カペラ・アカデミカ

指揮 : 吉川 紀彦

~~~~~休憩 (15分)~~~~~

#### 第2部 メサイア (抜粋)

独唱 : 丹羽 多美子・早川 美香

鈴木 美穂

丹羽 哲也

河野 真剛

合唱 : 浜松バッハ研究会

豊橋バッハアンサンブル

浜松クリスチャンコワイヤ

管弦楽 : カペラ・アカデミカ

指揮 : 河野 周平

## 2017年12月9日 (土)

開場 : 午後5時30分      開演 : 午後6時

会場 : 浜松市福祉交流センター ホール

後援 : (公財) 浜松市文化振興財団

静岡新聞・静岡放送、中日新聞東海本社

ホール内容席では携帯電話、スマートフォンなど全ての電子機器の電源をお切りください。タブレット端末など光を発する機器も、周囲の方の鑑賞の妨げとなりますので、ご使用にならないようお願いいたします。

## ご挨拶

私共の演奏会にお越し頂き、誠にありがとうございます。  
今夜はヘンデル作曲の、優雅な宮廷を想起させますフランス風序曲で始まる「水上の音楽」と、キリストの生涯と救済を喜びと誇りに満ちた音で綴った不朽の名作「メサイア」を取り上げました。  
来る年が皆様にとって幸せな1年となりますよう、ヘンデルの音楽に託して精いっぱい演奏致しますので最後までお楽しみいただけますようお願い申し上げます。

カペラ・アカデミカ団員一同

## 出演者

### 吉川 紀彦（指揮：第1部）

神奈川県横浜市出身。大阪労音管弦楽団でヴァイオリン奏者兼練習指揮者として活躍。1970年に大阪市民管弦楽団の設立に参画。1972年浜松に移り、1974年にカペラ・アカデミカの設立に参画。ヴァイオリンを比企康蔵、藤田康夫、指揮法を濱田徳昭の各氏に師事。ヤマハ発動機(株)勤務、(株)アルモニコス設立に参画、代表取締役等を経て、現在アルカート（海外技術コンサルタント業）代表、カペラ・アカデミカ代表を務める。

### 河野 周平（指揮：第2部）

宮城県延岡市出身。九州芸術工科大学（現九州大学）にて故濱田徳昭先生の薫陶を受け、指揮の手ほどきを受ける。1972年日本楽器製造(株)（現ヤマハ(株)）に入社し、1974年にカペラ・アカデミカの設立に参画した。1979～1984年ドイツ駐在時代に、ユルゲン・ユルゲンス率いるハンブルク・モンテヴェルディ合唱団に所属し、古典から現代に至る合唱作品に親しむ。1985年浜松バッハ研究会を設立、現在その代表を務める。

### 鈴木 美穂（アルト独唱）

浜松市出身。エリザベト音楽大学宗教音楽学科オラトリオ・カンタータコースを経て、同大学院音楽研究科宗教声楽専攻修了。声楽を故鈴木仁、ウーヴェ・ハイルマン、波多野睦美の各氏に師事。これまでシュッツ、バッハ、ヘンデル、ヴィヴァルディ、パーセルなど主にバロック声楽作品のソリストを務める。

### 河野 真剛（バス独唱）

浜松市生まれ。パリ音楽院(CNR)ピアノ科、声楽アンサンブル科卒業。ブレスト・ピアノコンクール1位受賞。モスクワ音楽院声楽科・声楽伴奏科卒業。カリニングラード国際歌曲コンクール入賞。ヤング・プラハ国際音楽祭、グリーンカ生誕200周年音楽祭、ケルチェット音楽祭等に出演。「静岡の名手たち」オーディション合格。ヤマハミュージック浜松店、SBS学苑、浜松学芸高校芸術科各講師。二期会・ロシア歌曲研究会会員。

### 浜松バッハ研究会、豊橋バッハアンサンブル

1973年から1985年に至るまで故濱田徳昭氏の薫陶を受けた、浜松・豊橋地区の四つの団体の流れを汲む合唱団。1985年に設立された「浜松バッハ研究会」とその姉妹団体「豊橋バッハアンサンブル」は、合同で活動しており、新国立劇場指揮者の三澤洋史氏を常任指揮者に仰いでいる。これまでマタイ受難曲、ヨハネ受難曲、ミサ曲口短調などバッハの大作を中心に公演してきた。2000年から2001年にかけてはドイツツアーを実施、ライプツィヒ、アイゼナハ、エアフルト、ハッレなどバッハ縁の地で演奏した。

### 浜松クリスチャンコワイヤ

1977年に超教派の合同聖歌隊として誕生。次の目標を掲げて、50周年を目指し活動を続けている。

- ①賛美を通してイエス・キリストを伝える
- ②教派を超えたキリスト者の交わり
- ③礼拝の為の豊かで力強い礼拝賛美を目指して

市民クリスマス、受難節の賛美と黙想、土曜音楽礼拝を三本柱として活動している。

|                |       |       |       |       |       |       |       |
|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| <u>Soprano</u> | 井浦芙蓉子 | 伊津野泰子 | 河合 良子 | 川原 晶子 | 北原 初代 | 白井登枝江 | 手嶋亜彩子 |
|                | 中村 修子 | 丹羽多美子 | 早川 美香 | 増井 京子 | 三宅ゆりの | 村上 明子 |       |
| <u>Alto</u>    | 渥美 法子 | 伊藤 道子 | 金丸 則子 | 河野 善子 | 鬼頭 計枝 | 小林 益世 | 鈴木 理恵 |
|                | 富田 康江 | 浪崎 加代 | 馬淵 京子 | 宮崎 道子 | 森下 静子 | 森田 啓子 |       |
| <u>Tenor</u>   | 磯貝 光善 | 鈴木 洋一 | 西尾 昌巳 | 丹羽 哲也 | 村上 裕二 | 村橋 英幸 |       |
| <u>Bass</u>    | 生駒 修治 | 清原 正高 | 駒沢 真司 | 土川 幸一 | 富田 充  | 原口 直樹 | 宮 秀雄  |
|                | 安井 研一 |       |       |       |       |       |       |

団員ソリスト Tenor：丹羽 哲也（第2,3曲）Soprano：丹羽多美子（第14-16,20曲）・早川 美香（第18曲）

## カペラ・アカデミカ

浜松と豊橋在住の専門家、アマチュアにより結成された室内合奏団で、今は亡きバロック音楽の大家で皇太子殿下が師事された故濱田徳昭先生により命名され、1974年（昭和49年）9月2日に誕生。濱田先生のもとで主に宗教曲の演奏法などを学び、その後合奏団独自の定期演奏会を年2回及びその他の演奏会を2～3回開催し、室内アンサンブルのインティメイトな世界を創り上げることを目標としている。

|                              |                              |                |                |                    |                |
|------------------------------|------------------------------|----------------|----------------|--------------------|----------------|
| <u>1<sup>st</sup> Violin</u> | <u>2<sup>nd</sup> Violin</u> | <u>Viola</u>   | <u>Cello</u>   | <u>Double bass</u> | <u>Cembalo</u> |
| 今井 重人                        | 磯貝 ゆり                        | 木下 正明          | 佐藤 隆行          | 小林 哲               | 釘本 真理          |
| ◎釘本 英範                       | 末田 良                         | 桑原 義彦          | 浜島 吉男          | 早川 浩一              |                |
| 林 明子                         | 宮崎 秀生                        | 小林はる奈          | Lynn Konishi   |                    |                |
| 水谷 緑                         | 村上 香織                        |                |                |                    |                |
| <u>Flute</u>                 | <u>Oboe</u>                  | <u>Bassoon</u> | <u>Trumpet</u> | <u>Horn</u>        | <u>Timpani</u> |
| 続 真樹                         | 江間由希子                        | 長瀬美穂子          | 岡部比呂男          | 小楠 賢明              | 今泉 好雅          |
|                              | 大橋 弥生                        |                | 福田 徳久          | 佐藤 博子              |                |

◎はコンサート・マスター

## 曲目解説

### ■ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル(1685～1759)：水上の音楽（管弦楽組曲）

ヘンデルは、バッハと同じ年に生まれていますが、バッハとは対照的に若い頃からイタリアへ出向き、その後はイギリスを来訪し、最終的にはイギリスの市民権を獲得しています。名前も「ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル」から「ジョージ・フレデリック・ハンデル」となっています。そのヘンデルの作った管弦楽曲の代表作が「水上の音楽」です。この曲については有名な逸話があります。ヘンデルがドイツのハノーファーの宮廷に仕えていた頃の主君ハノーファー侯、何と後年イギリス国王に就任し、ジョージ1世としてヘンデルのいるイギリスへやって来ました。ヘンデルはハノーファー侯の再三の帰国命令を無視してイギリスに居付いていましたので、「これは困った」ということになりました。そのご機嫌を取るために作った曲がこの「水上の音楽」という説です。王がテムズ川で舟遊びをする際のために、壮大な管弦楽曲を作曲・演奏して、めでたく和解した、という話なのですがこの話は少々出来すぎたところがあります。この曲が出来る前に、すでに彼らは和解していたようです。ただし、舟遊びのために作られた曲ということは事実のようです。野外で演奏されることを想定していますので、全体に明るく、開放的な雰囲気があります。管楽器はソリスティックに活躍しますので合奏協奏曲のような雰囲気もあります。

曲の成立事情を考慮して、現在では全体を3つの組曲（順にへ長調、二長調、ト長調）に分けて演奏されることが多くなっています。仏国の宮廷音楽と英国の管楽器アンサンブルの見事な融合が楽しめる作品です。

#### 第1組曲へ長調：編成：オーボエ\*2，ファゴット\*1，ホルン\*2，弦楽器

1. 序曲（ラルゴ→アレグロ）
2. アダージョ・エ・スタカート
3. アレグロ→アンダンテ→アレグロ
4. メヌエット
5. アリア
6. メヌエット
7. ブーレー
8. ホーンパイプ
9. アンダンテ

#### 第2組曲二長調、第3組曲ト長調：編成：オーボエ\*2，ファゴット\*1，ホルン\*2，トランペット\*2，弦楽器

10. 序曲（第2組曲）
11. アラ・ホーンパイプ（第2組曲）
12. メヌエット（第3組曲）
13. リゴードン（第3組曲）
14. ラントマン（第2組曲）
15. ブーレー（第2組曲）
16. メヌエツ（第3組曲）
17. アンダンテ（第3組曲）
18. カントリー・ダンスI・II（第3組曲）
19. メヌエット（第2組曲）

## ■ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル (1685~1759) : メサイア (オラトリオ)

「メサイア」というのはヘブライ語の「メシア」の英語読みです。「神から選ばれた支配者、悩める者の解放者」を意味し、「救世主」とも訳されています。ヘンデルの代表曲ともいえるこの「メサイア」は深い宗教的感動のゆえに、クリスマスの時期になると世界中で演奏される機会の多い曲です。

曲は3部に分けられ、第1部では「予言とキリストの誕生」、第2部では「受難と贖罪」、第3部では「復活と永遠の生命」を描き出します。このオラトリオは教会での礼拝のためのものではなく、劇場で演奏されることを目的としています。イエス・キリストの生涯を題材として、独唱、重唱、合唱、レチタティーヴォ（叙唱、朗唱）を交互させて進行するこの音楽は、偉大な宗教音楽ではありますが、バッハのオラトリオや受難曲のような教会音楽ではなく、教会という場を越えた、全人類の普遍的な音楽であるといえましょう。

初演は1741年、英国のダブリンの音楽堂でヘンデル自身の指揮によって行われ、聴衆に深い感動を与え、新聞で絶賛されています。ロンドン初演は2年後の1743年、ロンドンの国王ジョージ2世の前で初めて演奏されました。その際、「ハレルヤ・コーラス」の部分で感動したジョージ2世が立ち上がり拍手を送り、聴衆もそれにならって立ち上がり拍手を送りました。今日まで「メサイア」の演奏会では、「ハレルヤ・コーラス」の部分では観衆が立ち上がり、出演者に惜しみないスタンディング・オベーションが送られますが、これが起こりとされています。現在でも、観客が立ち上がる習慣が残っているようです。

今回は、第1部全曲と第2部のハレルヤ・コーラスを演奏します。

### 第1部 預言とキリストの誕生 (第1曲~21曲)

1. 序曲 : シンフォニア
2. アコンパニヤート(Tenor) : Comfort ye my people わが民を慰めよ
3. アリア(Tenor) : Every valley shall be exalted もろもろの谷は高くせられ
4. 合唱 : And the glory of the Lord こうして主の栄光が現れ
5. アコンパニヤート(Bass) : Thus saith the Lord 万軍の主はこう言われる
6. アリア(Alto) : But who may abide the day of His coming その来る日には誰が耐え得よう
7. 合唱 : And He shall purify レビの子孫を清め
8. レチタティーヴォ(Alto) : Behold, a virgin shall conceive 見よ、おとめがみごもって
9. アリアと合唱(Alto) : O thou that tellest good tidings to Zion よきおとずれをシオンに伝える者よ
10. アコンパニヤート(Bass) : For behold, darkness shall cover the earth 見よ、暗きは地をおおい
11. アリア(Bass) : The people that walked in darkness 暗やみの中に歩んでいた民は
12. 合唱 : For unto us a child is born ひとりの嬰兒(みどりご)がわれわれのために生まれた
13. ピファ : 田園交響曲
- 14a. レチタティーヴォ(Sop) : There were shepherds abiding in the field 羊飼いたちが夜
- 14b. アコンパニヤート(Sop) : And lo, the angel of the Lord come upon them 主の御使が現れ
15. レチタティーヴォ(Sop) : And the angel said unto them 御使は言った
16. アコンパニヤート(Sop) : And suddenly there was with the angel するとたちまち、おびただしい天の軍勢が
17. 合唱 : Glory to God in the highest いと高きところでは神に栄光があるように
18. アリア(Sop) : Rejoice greatly, O daughter of Zion シオンの娘よ、大いに喜べ
19. レチタティーヴォ(Alto) : Then shall the eyes of the blind その時、盲(めしい)の目は開かれ
20. アリア(Alto/Sop) : He shall feed his flock like a shepherd 主は牧者のようにその群れを養い
21. 合唱 : His yoke is easy and his burthen is light 彼のくびきは負いやすく、彼の荷は軽いからである

### 第2部 受難と贖罪 (第22曲~44曲)

44. 合唱 : Hallelujah ハレルヤ